



Business Report

第73期 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第73期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦などによる経済状況の不透明感から、中国、欧州などの景気減速の影響により、企業業績は厳しい状況が続きました。更に今年に入ってから、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経済・社会活動が深刻化しており、世界経済にも減速懸念が強まるなど、国内外の経営環境は厳しさを増していくことが予想され、先行きは極めて難しい状況となっております。

こうした状況下において当社グループは、事業グループごとに、次世代自動車、高速5G通信、半導体、センサー、水処理、建設部材、食品素材、再生医療等の様々な業界への拡販・参入に注力するとともに、製商品の新たな用途の提案、新技術の開発に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、受注環境に広範な影響を及ぼし始め、主要な関係業界の受注動向の減退により、当社グループの業績が低迷することとなりました。

その結果、当期の当社グループの業績は、売上高及び利益面ともに前年の業績を下回る結果となりました。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、不確実性が増す世界情勢

の中で、当社グループの経営環境は一段と厳しさを増し、先行きの見通しは難しい状況が継続するものと予想されます。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

株主の皆様には、当社グループのこうした取り組みへご理解いただき、引き続き相変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知識を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



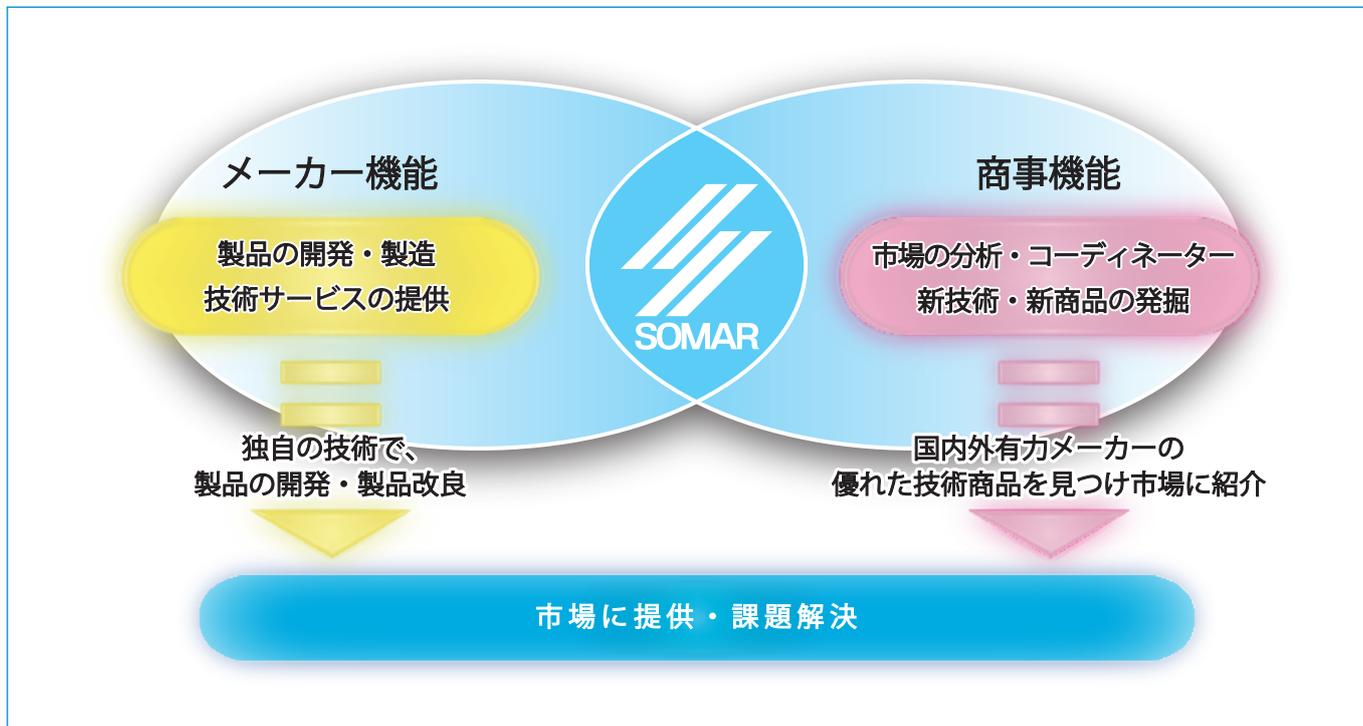
社会が求める価値観が益々多様化し高度化する中で、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさにつながる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の維持向上、株主還元にも努めてまいります。

◆ 事業の内容

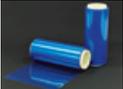
【商社とメーカー2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していくなか、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は、「メーカー機能」と「商事機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、顧客がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様と共に課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	<h4>高機能材料事業</h4>	<p>主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等</p>
<p>売上高：152億7千6百万円 (前年比10.4%減) 営業利益：3億7千6百万円 (前年比63.1%減)</p>	<p>樹脂事業は自動車関連や建材関連の新規受注等により、売上高は小幅な落ち込みにとどまりましたが、フィルム事業は、市場の変化に対応すべく諸施策を講じてきたものの、米中貿易摩擦や中国経済の減速等の影響を受け、モバイル関連の製商品の売上高が大きく減少しました。</p>	
	<h4>環境材料事業</h4>	<p>主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等</p>
<p>売上高：43億1千5百万円 (前年比7.6%減) 営業利益：1千8百万円 (前年比8.2%増)</p>	<p>「製品市場の開発」・「新規商材の獲得」をテーマとした積極的な営業活動の推進により、新製品を上市し、顧客での採用に繋がりました。その結果、主力商品における原料価格下落に伴う販売価格の値下げ等の影響で売上高は減少したものの、営業利益は増加しました。</p>	
	<h4>食品材料事業</h4>	<p>主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等</p>
<p>売上高：14億1千8百万円 (前年比12.7%増) 営業利益：1億2千4百万円 (前年比10.6%増)</p>	<p>的を絞った施策のもと、特長ある天然の食品素材等の拡販に努めた結果、主力商品の増粘安定剤・乾燥野菜において、新規商材の採用・顧客獲得に結びつき、売上高・営業利益ともに伸長しました。</p>	

◆ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(千円)

科 目	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当連結会計年度 2020年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	14,770,762	14,123,965
固定資産	5,778,241	5,751,938
有形固定資産	2,658,156	2,960,722
無形固定資産	88,457	99,063
投資その他の資産	3,031,627	2,692,152
資産合計	20,549,004	19,875,904
【負債の部】		
流動負債	7,913,028	3,943,034
固定負債	138,796	3,570,521
長期借入金	-	3,450,000
資産除去債務	61,920	62,067
繰延税金負債	22,436	6,748
退職給付に係る負債	-	7,564
その他	54,439	44,141
負債合計	8,051,824	7,513,556
【純資産の部】		
株主資本	11,301,812	11,377,042
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	1,768,633	1,844,842
自己株式	△55,985	△56,964
その他の包括利益累計額	1,195,367	985,306
純資産合計	12,497,179	12,362,348
負債純資産合計	20,549,004	19,875,904

連結損益計算書

(千円)

科 目	前連結会計期間 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当連結会計期間 2019年4月1日～ 2020年3月31日
売上高	23,048,092	21,098,791
売上原価	19,079,514	17,690,085
売上総利益	3,968,577	3,408,706
販売費及び一般管理費	3,077,575	3,138,722
営業利益	891,001	269,983
営業外収益	105,367	102,923
営業外費用	54,649	85,606
経常利益	941,720	287,300
特別損失	8,892	3,889
税金等調整前当期純利益	932,827	283,410
法人税等合計	137,086	107,572
当期純利益	795,741	175,838
親会社株主に帰属する 当期純利益	795,741	175,838

連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科 目	前連結会計期間 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当連結会計期間 2019年4月1日～ 2020年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	222,988	1,126,128
投資活動による キャッシュ・フロー	△478,334	△159,161
財務活動による キャッシュ・フロー	△98,091	△151,673
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△47,788	27,580
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△401,225	842,874
現金及び現金同等物の 期首残高	4,641,484	4,240,259
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	63,571
現金及び現金同等物の 期末残高	4,240,259	5,146,704

◆ 株主の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株

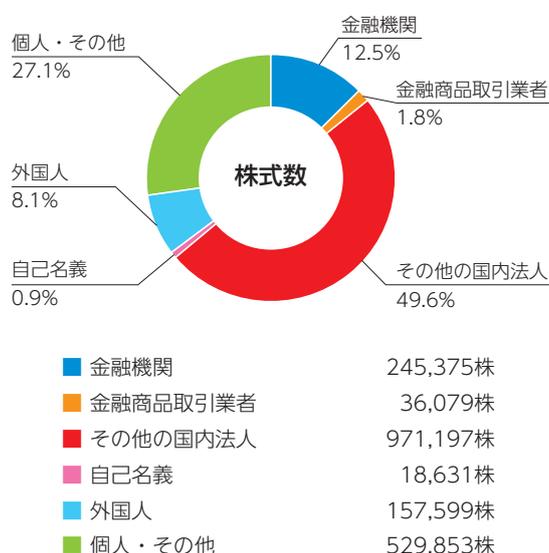
発行済株式の総数 1,958,734株

株主数 1,550名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	51	2.7
株式会社三菱UFJ銀行	46	2.4
INTERACTIVE BROKERS LLC	38	2.0
ソマール従業員持株会	32	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	27	1.4
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	26	1.4

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	320名 (連結439名)

◆ 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	曾谷 和久
取締役	鶴田 正樹
取締役	小林 弘司
取締役	松山 撰昇
取締役	三村 昇之
取締役	坂本 孝
常勤監査役	春日 亨
監査役	山崎 晴信
監査役	亀山 玲史
監査役	中島 史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.somar.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてよりご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<http://www.somar.co.jp/>

◆ アンケートのご案内

株主向けアンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
8152

いいかぶ

検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。 QRコードは株式会社e-kabunushiの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます

※本アンケートは、株式会社e2media(エー・ツー・メディア)の提供による株主リサーチサービスにより実施いたします。
(株式会社e2media)の詳細 <https://www.e2media.co.jp/>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com